

新規就農者の育成に向けた支援活動

高島農業農村振興事務所農産普及課

【普及活動のねらい・対象】

近年、高島地域では意欲ある若手農業者が就農しています。その多くは大規模水稻農家の2世であり、親の経営を継承・拡大しようとする若者達です。

今後、地域農業の担い手リーダーとなる、就農して間もない若手農業者5名に対し、緊急経済対策の一環として新設された新規就農定着促進事業を活用して若手農業者の育成を行いました。

【普及活動の成果】

最初に課のプロジェクトチームを立ち上げて支援体制を整備し、次のように役割分担をしました。

事業全般にかかること・就農支援資金にかかること（技術支援グループ）

5戸の個別育成指導（産地づくりグループ）

総括（青少年担当）

そのうえで、市、農業委員会、JA（営農・金融）、農業センター、農業共済組合等と連携を取りながら指導にあたりました。

5名の若者に対しては、5年後に500万円の所得をあげることが出来るよう、個々に目標設定の指導や、就農計画の作成支援を行いました。特に、親である経営主を交えて我家の課題や役割分担するための話し合いを促しました。

その結果、それぞれの若者が主体的に作成した就農計画が知事に認定され、認定就農者として意欲を持って農業に携われる方向づけを図ることができました。あわせて、就農計画の目標達成のために事業を活用して農業機械やビニールハウスを導入し、円滑な経営継承と経営開始を図ることができました。

次年度は、今回対象とした5名の若者が、それぞれの就農計画に沿った農業経営が展開できるよう、栽培技術や経営戦略等の支援を重点的に行っていきます。



認定就農者・関係機関との就農支援会議